

Stik-hall Baroque Concert

バロック音楽名曲集

～時空を超えて～



カウンターテナー
中嶋 俊晴
 Toshiharu Nakajima

平成25年度滋賀県次世代文化賞受賞



バロックヴァイオリン
高岸 卓人
 Takuto Takagishi

平成27年度滋賀県次世代文化賞受賞



チェンバロ
三橋 桜子
 Sakurako Mitsuhashi

Program ～プログラム～

ヘンデル : 歌劇『ジュリアス・シーザー』より“もし花咲く美しい野辺で”
 ヘンデル : 歌劇『リナルド』より“風よ 暴風よ 貸したまふ”
 ヘンデル : ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 作品1-13
 バーセル : 歌劇『妖精の女王』より “もし恋が甘いものならば” “嘆きの歌”
 バーセル : “ヴィオールを鳴らし” “暫し楽の音に”
 バーセル : 組曲 第6番 ニ長調 Z.667
 コレリ : ヴァイオリン・ソナタ ニ短調 作品5-12「ラ・フォリア」
 カルダーラ : カンタータ「耐えてください、いとしいアルチーノ」

G.F.Händel : 《Giulio Cesare》“Se in fiorito ameno prato”
 G.F.Händel : 《Rinaldo》“Venti, turbini, prestate”
 G.F.Händel : Sonata for violin in D major HWV371
 H.Purcell : 《The fairy queen》“If love's a sweet passion” “O let me weep”
 H.Purcell : “Strike the viol” “Music for a while”
 H.Purcell : Suite D major Z.667 Prelude/Allemande/Hornpipe
 A.Corelli : Sonata Op.5-12 in d minor “La Follia”
 A.Caldara : Solo Cantata “Soffri mio caro Alcino”

2020.12.5 (Sat) 13:15 開場 14:00 開演

会場 木之本スティックホール 〒529-0425 滋賀県長浜市木之本町木之本1757

入場料 一般 ¥2,000 (税込) 25歳未満 ¥1,000 (税込) 自由席 ※未就学のお子さまはご入場いただけません。

前売り 10月3日(土) 販売開始 当日各500円増し

プレイガイド

木之本スティックホール Tel.0749-82-2411 / びわ湖芸術文化財団ホームページ(<https://www.biwko-arts.or.jp/rd/>) / ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 52773]
 びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136 (10:00~19:00・火曜日休館、休日の場合は翌日・窓口販売、現金のみ取扱い) / 県立文化産業交流会館 Tel.0749-52-5111
 米原市民交流プラザラッパプラザ Tel.0749-55-4550 / 長浜文化芸術会館 Tel.0749-63-7400 / 浅井文化ホール Tel.0749-74-4000

主催: 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、木之本スティックホール (指定管理者: 株式会社ふるさと夢公社きのもと)

後援: 滋賀県教育委員会

協力: 株式会社しがぎん経済文化センター、彦根の音楽家を支援する会

問い合わせ 木之本スティックホール TEL.0749-82-2411

この事業は、株式会社ふるさと夢公社きのもと(公財)びわ湖芸術文化財団が協働して実施しています。
 ※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。



電車: JR北陸本線木ノ本駅から徒歩6分
 車: 北陸自動車道木之本ICから2分
 長浜市北部振興局隣 駐車場完備



バロック音楽名曲集 ～時空を超えて～

滋賀県では、1976年(昭和51年)より毎年、文化の高揚に貢献し顕著な功績のある、もしくは文化の向上発展に寄与し将来が期待される方々を表彰しています。受賞者の中には、国内外で活躍する演奏家も数多く、まさに滋賀の宝といえます。

そのアーティストたちによる地元での創造・演奏活動で地域との絆を深め、より躍進する契機となり、地域の音楽文化が元気になるようにと2019年度より始まったのが、「滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート Celebration2020」です。



カウンターテナー

中嶋 俊晴

Toshiharu Nakajima

■平成25年度滋賀県次世代文化賞受賞

彦根市出身。京都市立芸術大学音楽学専攻卒業、東京藝術大学大学院修士課程修了。ウィーン国立音楽大学大学院リート・オラトリオ専修およびアムステルダム音楽院修士課程バロック声楽専攻を共に満場一致の最優秀栄誉賞付きにて修了。ヘンデル作曲、歌劇《タメルラノ》のタイトルロールを歌い、欧州デビュー。これまでにコンサートソリストとして、J.van Veldhoven、E.L. Banzo、A.van der Spoel、C. Meierら欧州を代表する音楽家と度々共演を重ねている。またこれまでにウィーン・シュベールティアーデ、ユトレヒト古楽音楽祭、ブラハの春音楽祭等欧州各地の音楽祭にソリストとして招聘されるなど、国際的に活躍の場を広めている。2019年にはスペインを代表する古楽アンサンブルAl Ayre Españolにソリストとして招聘され、スペイン各地でその歌声を披露、演奏は地元新聞評などで絶賛された。日本音楽コンクール、ブラームス国際コンクール(ペルチャッパ)、国際ペティレック現代歌曲コンクール(ウィーン)、友愛ドイツ歌曲コンクール等で入選入賞を果たし歌曲の分野でも高く評価された。これまでに、高木充江、三井ツヤ子、野々下由香里、G.Lechner、C.Spencer、D.Lutz、X.Meijer、M.Honigの各氏に師事。また世界的声楽教師であるM.Honig氏の元声楽教授法についても研鑽を積んでいる。平成24年度京都市芸術文化特別奨励者。野村財団海外留学助成者、ローム ミュージック ファンデーション奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員として欧州各地で研鑽を積んだ。また令和2年度五島記念文化賞オペラ新人賞をカウンターテナーとしてはじめて受賞、大きな話題となった。

バロックヴァイオリン

高岸 卓人

Takuto Takagishi

■平成27年度滋賀県次世代文化賞受賞

彦根市出身。東京藝術大学を卒業後、同大学大学院修士課程、デン・ハーグ王立音楽院修士課程修了。第9回大阪国際音楽コンクール エスポアール賞受賞。第62回全日本学生音楽コンクール全国大会入選。東京藝術大学卒業時に同声会賞を受賞。Das Neue Mannheimer Orchesterのメンバーとして、グラウン・コンクールで“Hofkapelle Elbe-Elster”für das Jahr 2019 Prizeを受賞。クフモ室内楽音楽祭、パンフィック・ミュージック・フェスティバル、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭オーケストラアカデミー、EQ: Evolution of the String Quartet等に参加。彦根エコーオーケストラ、横浜シンフォニエッタ、バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、アンサンブル室町等の公演に出演している。これまでにヴァイオリンを福田みどり、塩澤まり子、戸澤哲夫、野口千代光、マウロ・イウラート、レオン・シュビラーの各氏に師事、バロックヴァイオリンを若松夏美、寺神戸亮の各氏に師事。オランダ・バッハ協会の‘Young Bach Fellow’として2019-2020シーズンの公演に参加している。



photo by S.Kida

チェンバロ

三橋 桜子

Sakurako Mitsuhashi

東京芸術大学器楽科チェンバロ専攻卒業。在学中に安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学生として選ばれる。オランダのユトレヒト音楽院でディプロマを取得。チェンバロを鈴木雅明、S.ヘンストラ、P.アンタイ、A.ジルベライシュ、通奏低音を多田逸郎、小島芳子、オルガンを早島万紀子の各氏に師事。1998年ブルージュ国際古楽コンクールセミファイナリスト。2000年京都・青山音楽賞受賞。2001年山梨古楽コンクール3位入賞(1位なし)。2007年京都ALTIの俊英演奏家シリーズでリサイタルを開催。国内外で通奏低音奏者としても活躍中。2010年CD「ネオバロック～融け合う時空～」を発売。京都市立芸術大学非常勤講師。同志社女子大学音楽学部嘱託講師。

ご来館される方へのお願い ～新型コロナウイルス拡大防止のため、以下についてご理解、ご協力をお願いします。～

- 来館時は必ずマスクを着用してください。
- 館内に手指消毒用アルコールを設置していますので、入館時に必ずご利用ください。
- 発熱・体調不良の場合は、来館をお控えください。
- 客席は、一定の間隔を開けております。お連れ様であっても間隔をあけて着席いただきます。
- 入場時は、一定の距離を保ってお並びください。開演前、休憩中の会話もお控えください。
- チケットは、入場時にご提示いただき、ご自身で切り離して半券をボックスにお入れください。
- プログラムなどの配布物は、所定の位置に設置しますのでご自身でお取り下さい。
- スタッフは全員マスクを着用し、極力声を出さないようにします。
- 出演者への面会、プレゼントはお控えください。
- 万が一、公演後に感染症を発症された方が居られた場合は、公的機関の求めに限り、入場券購入者名簿を提出します。
- 感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、出演者・曲目、当日の対応に変更が生じる可能性がございますこと予めご了承ください。